

# ロシア・トルコ景気概況 (2022年1-3月)

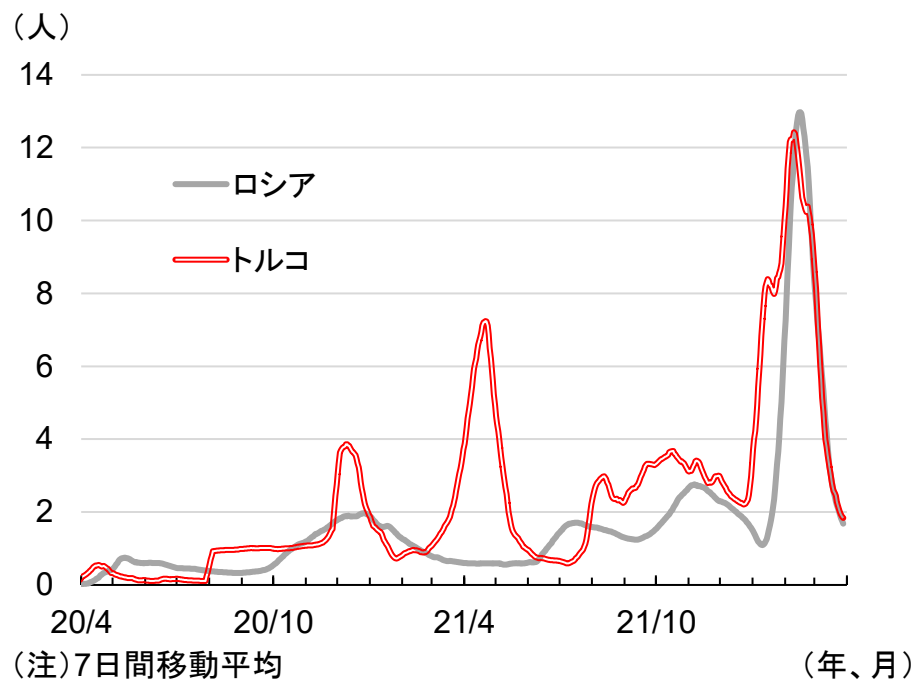
2022年4月1日

調査部 副主任研究員 土田陽介

# 新型コロナウイルスの感染状況

ロシアとトルコ共に、年明けに新型コロナウイルスの感染が拡大したが、2月にピークアウトした。死者数も1月から2月にかけて増加したが、3月にかけて減少した。

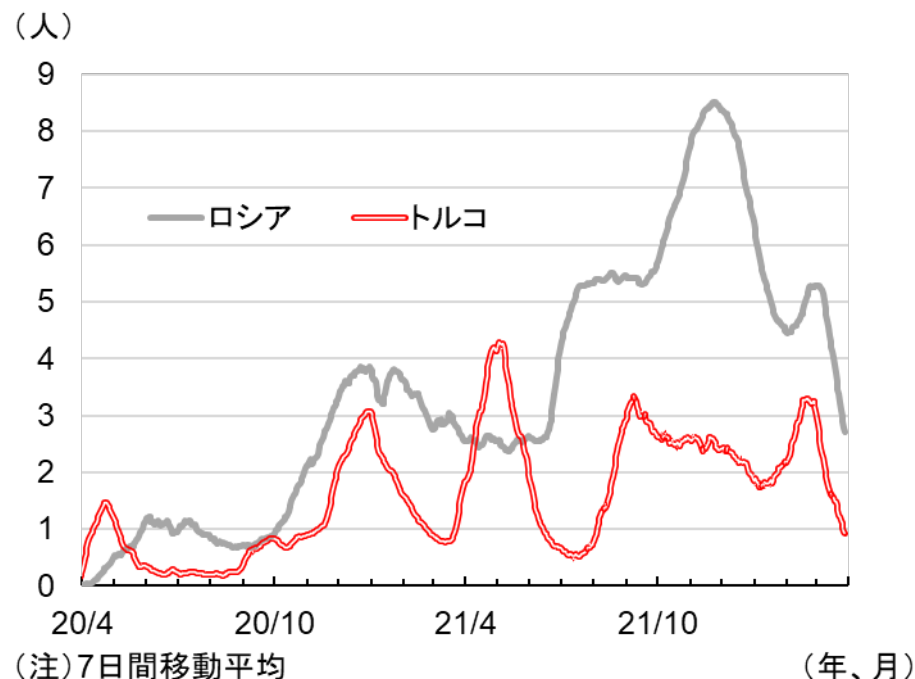
### 人口一人当たりの新規感染者数



(注) 7日間移動平均

(出所) ロシア統計局(ロスタット)、トルコ統計局、国際保健機関(WHO)

### 人口百万人当たり死者数



(注) 7日間移動平均

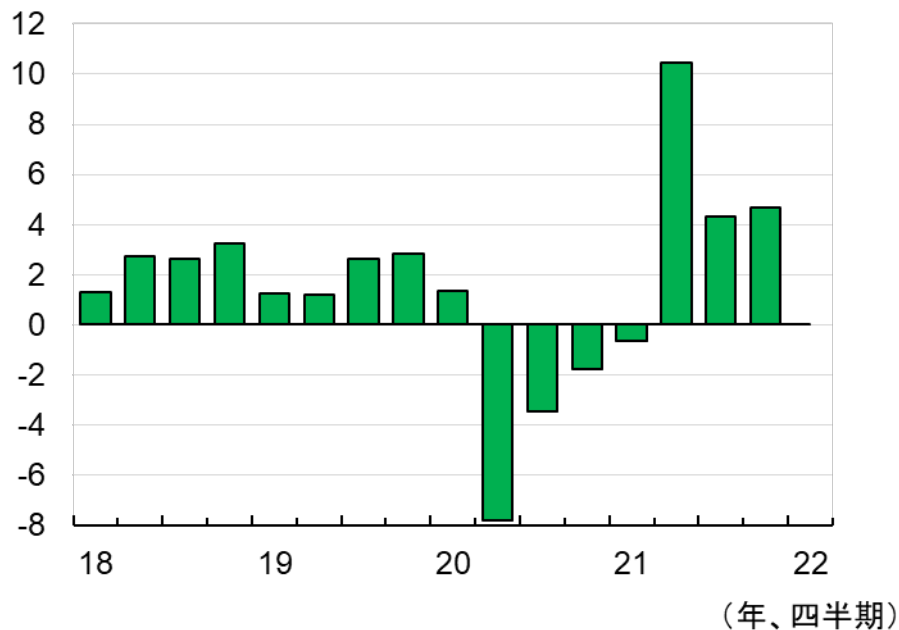
(出所) ロシア統計局(ロスタット)、トルコ統計局、国際保健機関(WHO)

# ロシア景気概況① 景気は悪化している

ロシアの2021年10-12月期の実質GDPは前年比+4.7%と、前期(同+4.3%)よりも成長が加速した。通年の成長率は4.7%となった。しかし2月24日にロシアがウクライナに侵攻したことを受けて、欧米を中心とする国際社会がロシアに対して経済制裁を強化した。そのため、ロシア景気は急速に悪化している。

### 実質GDP

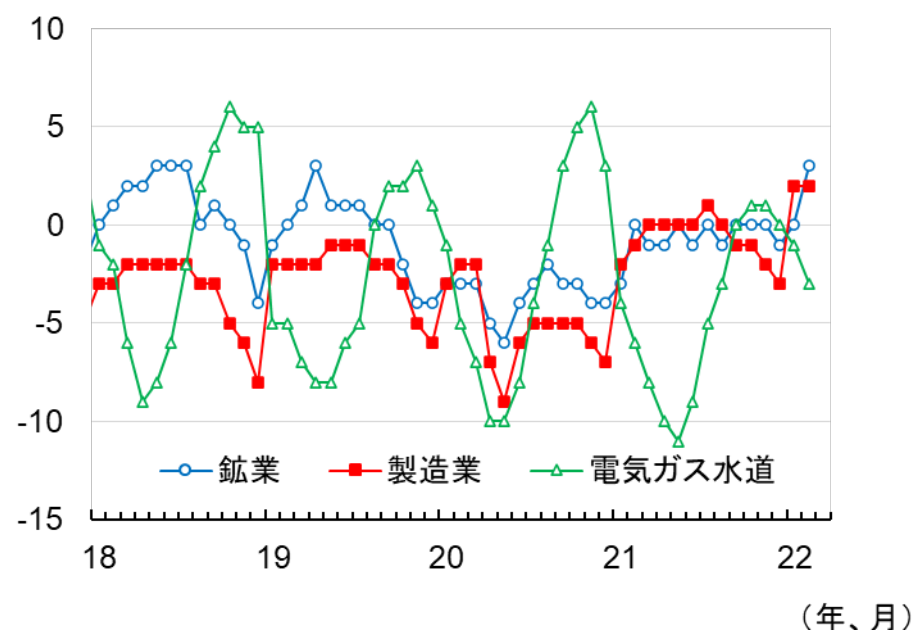
(前年比、%)



(出所)ロスタット

### 企業景況感指数

(ポイント)



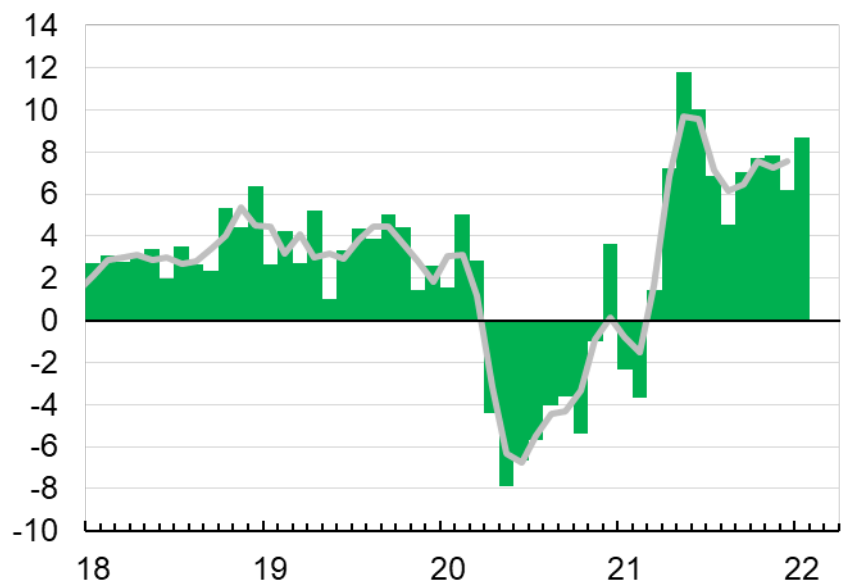
(出所)ロスタット

## ロシア景気概況② 生産は増加

ロシアの1月の鉱工業生産は前年比+8.7%と、前月(同+6.2%)から増勢が加速した。製造業が同+10.1%と前月(同+4.4%)から伸び率を高めた。鉱業に関しては、同月の原油・超軽質油生産量が前年比+8.1%と4ヶ月連続で8%台の伸びを維持した。

### 鉱工業生産

(前年比、%)



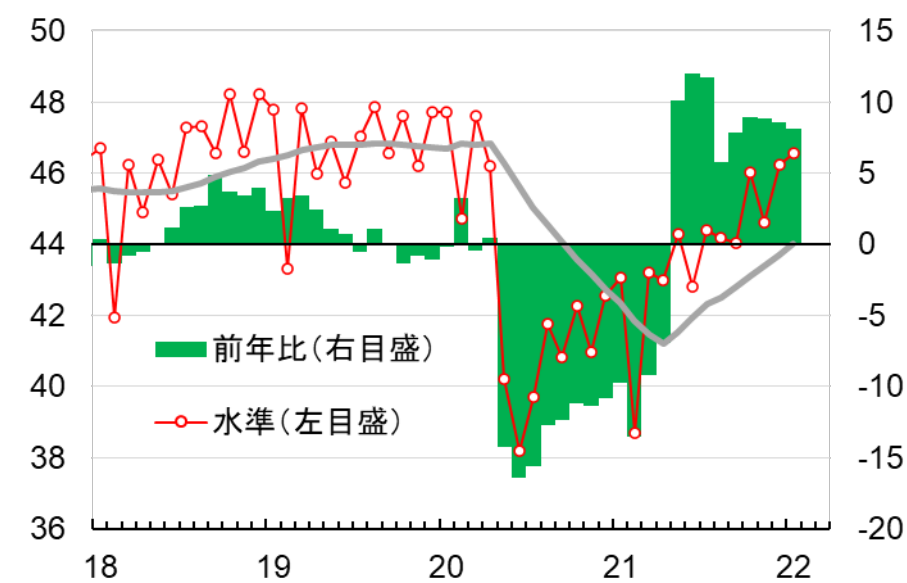
(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ロスタット

(年、月)

### 原油・超軽質油生産量

(100万トン)

(前年比、%)



(注) 灰色線は12ヶ月後方移動平均  
(出所)ロスタット

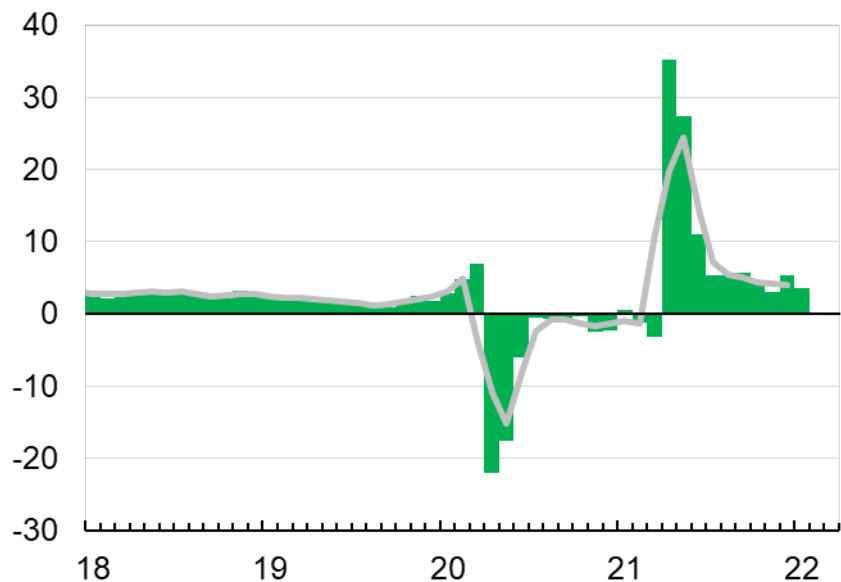
(年、月)

## ロシア景気概況③ 消費は増加

ロシアの1月の小売売上高は前年比+3.6%と前月(同+5.4%)から伸び率が低下した。一方で、2月の新車販売台数は前年比-4.8%と前月(同-3.7%)よりも減少幅が拡大した。

### 小売売上高

(前年比、%)



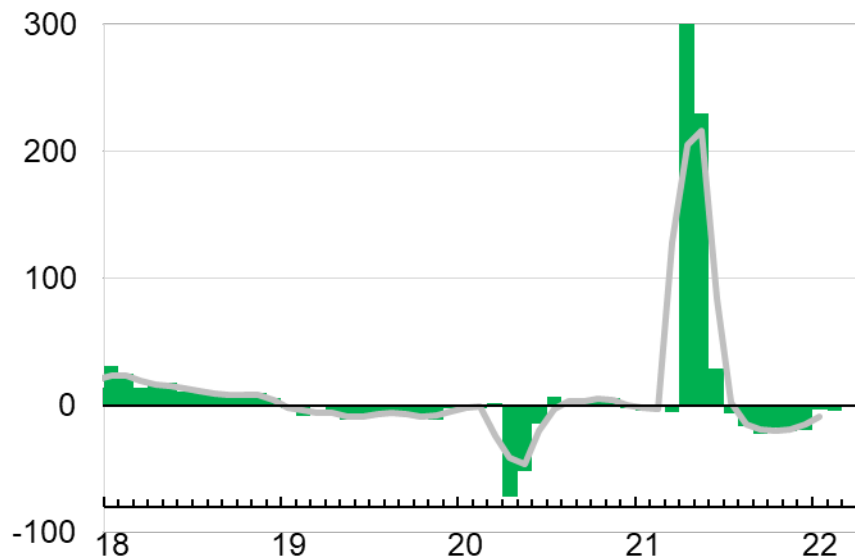
(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

(出所) ロスタット

(年、月)

### 新車販売台数

(前年比、%)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均

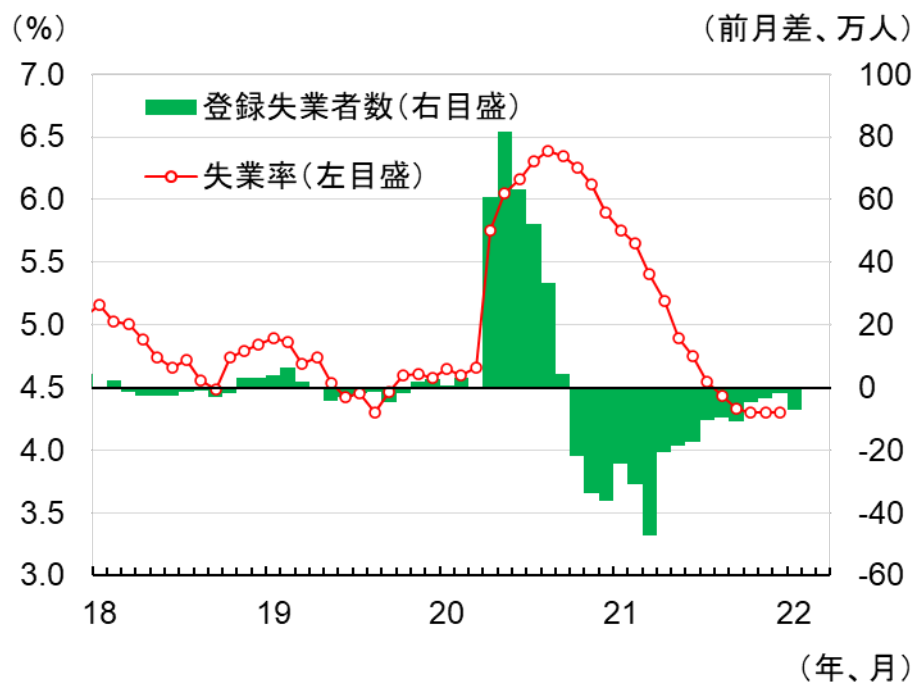
(出所) 欧州ビジネス協会(AEB)

(年、月)

## ロシア景気概況④ 雇用は改善が停滞

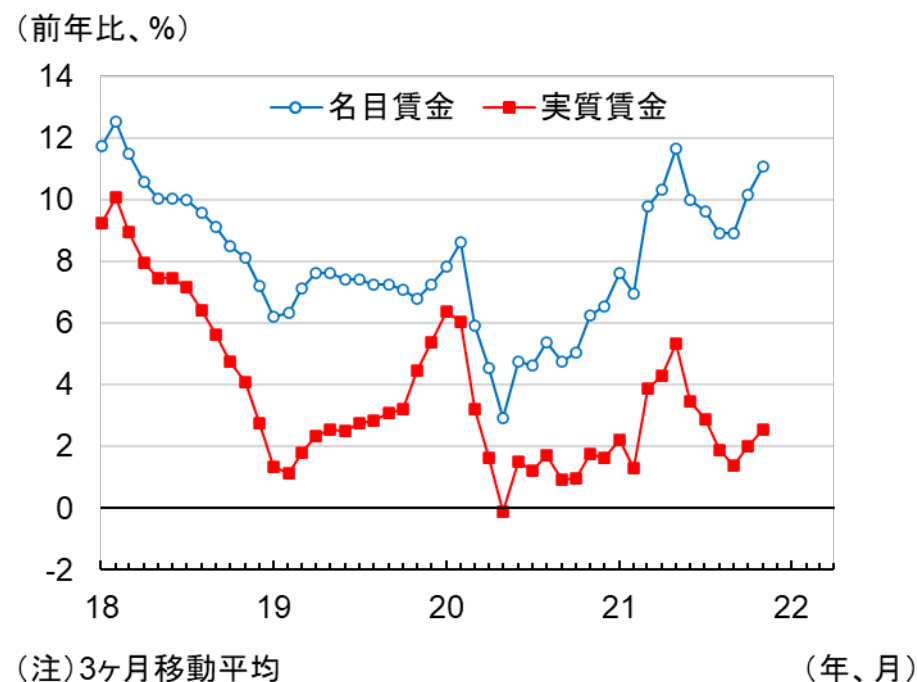
ロシアの1月の失業率は4.4%と前月(4.3%)から上昇した。一方、同月の登録失業者数は7.2万人減と前月(1.8万人減)よりもマイナス幅が拡大した。賃金は名目ベースだと前年比10%台の増勢に復したが、消費者物価でデフレートした実質ベースではインフレ加速の影響から伸びが2%程度に抑えられている。

### 失業率と失業者数



(出所)ロスタット

### 賃金動向



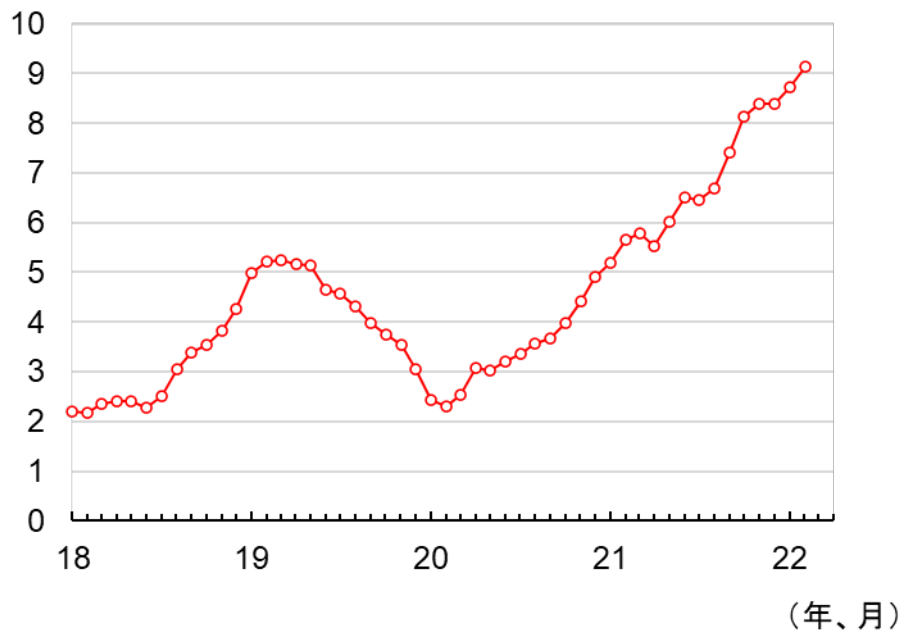
(注)3ヶ月移動平均  
(出所)ロスタット

## ロシア景気概況⑤ 物価はインフレが加速

ロシアの2月の消費者物価は前年比+9.2%と、上昇の加速が続いた。一方で、同月の生産者物価は同+24.8%と前月(同+24.4%)から伸びが加速した。しかしながら、2月24日にロシアがウクライナに侵攻したことに伴い通貨ルーブルが急落しており、足元のインフレは一段と加速している模様。

### 消費者物価

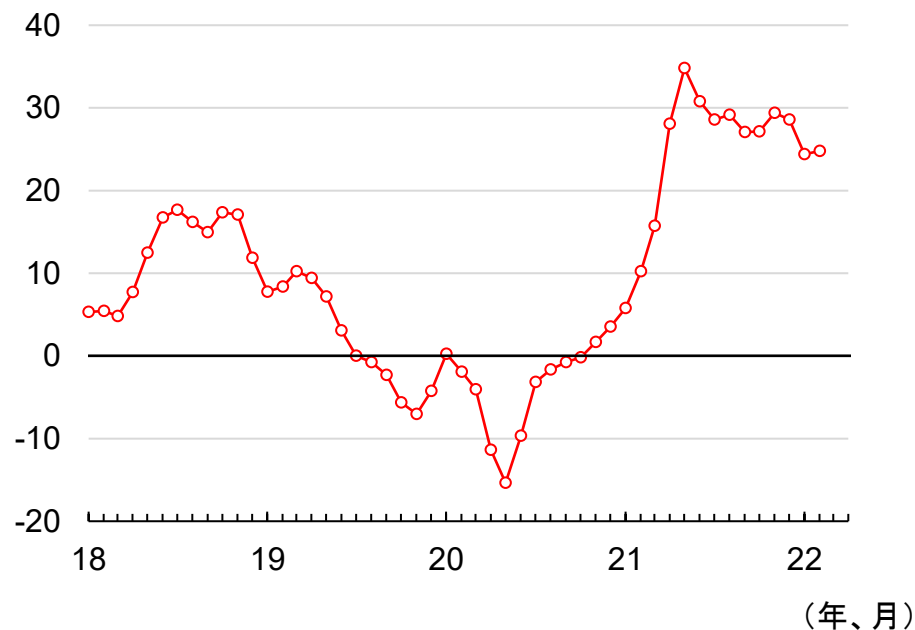
(前年比、%)



(出所)ロスタット

### 生産者物価

(前年比、%)

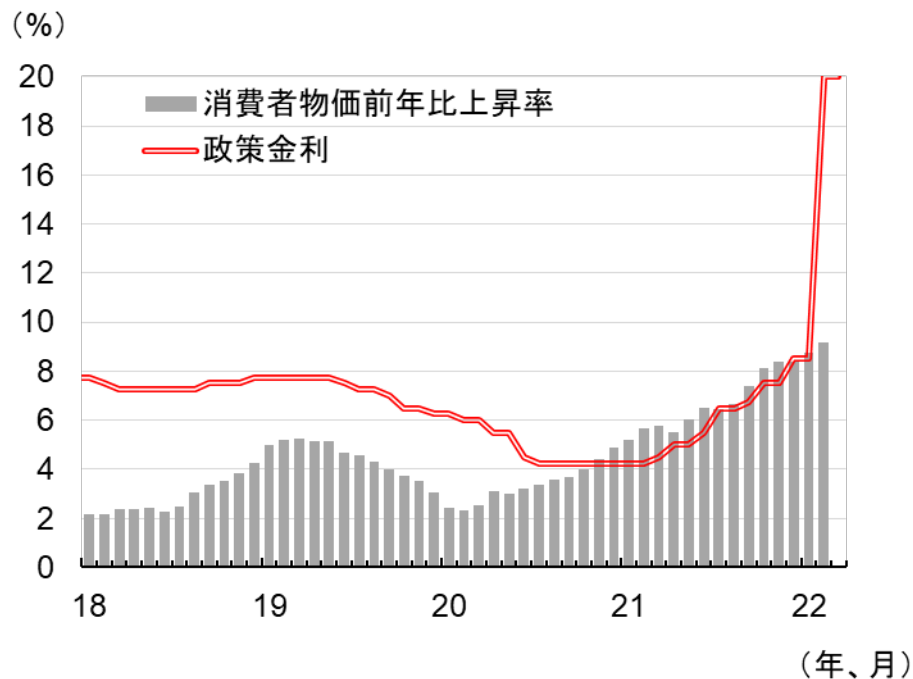


(出所)ロスタット

## ロシア景気概況⑥ ロシア中銀は大幅に利上げ

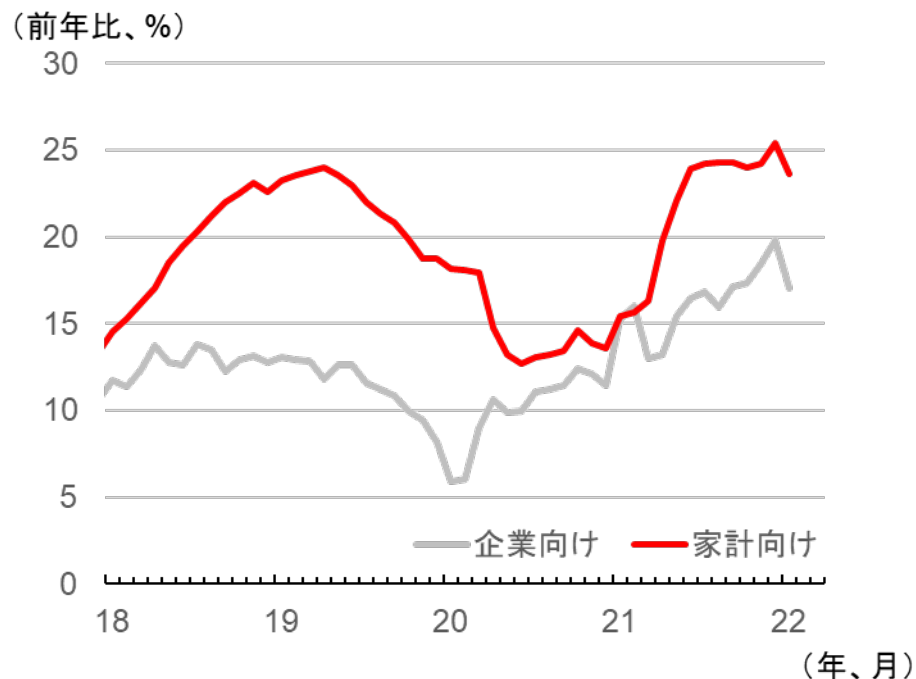
2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻をしたことや、欧米を中心とする国際社会がロシアに対して経済制裁を強化したことに伴い、通貨ルーブルが急落した。こうしたことからロシア中銀は2月28日、政策金利を9.5%から20%に引き上げた。その後ロシア中銀は、3月18日の会合では政策金利を20%で据え置いた。

### 政策金利と消費者物価



(出所)ロシア中銀、ロスタット

### 銀行の貸付残高



(出所)ロシア中銀



## ロシア景気概況⑦ 金利は上昇、株価は下落

ロシアの1-3月期の長期金利は上昇した。ロシア中銀が大幅な利上げを実施したことなどがその主な理由。一方で株価も下落した。中銀が大幅な利上げをしたことや、ロシアがウクライナに侵攻したことでリスク回避志向が高まった。ロシアがウクライナに軍事侵攻をして以降、株式市場は休場が続いた。

### 10年国債流通利回り

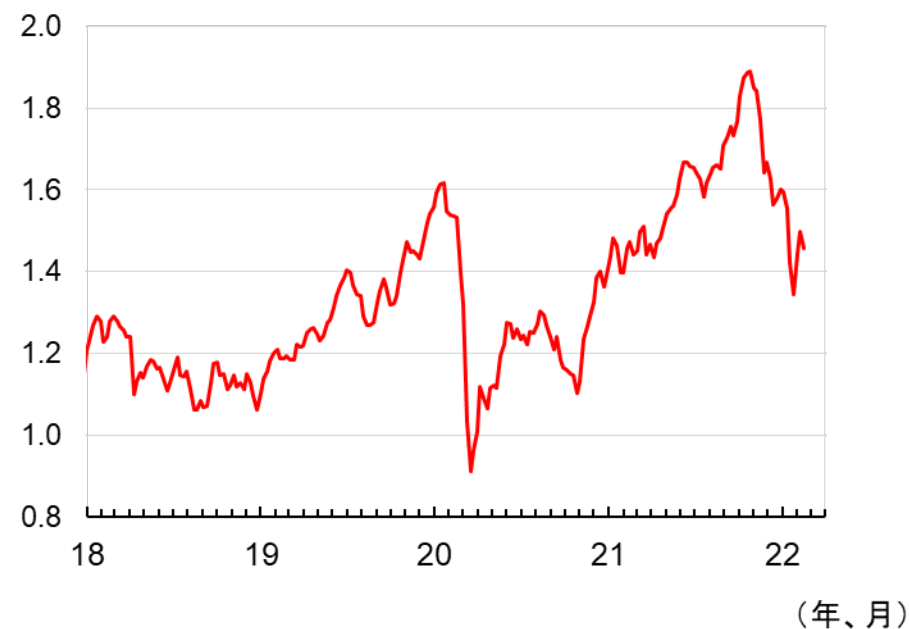
(年利、%)



(出所)ロシア財務省

### 株価(RTS指数)

(千ポイント)

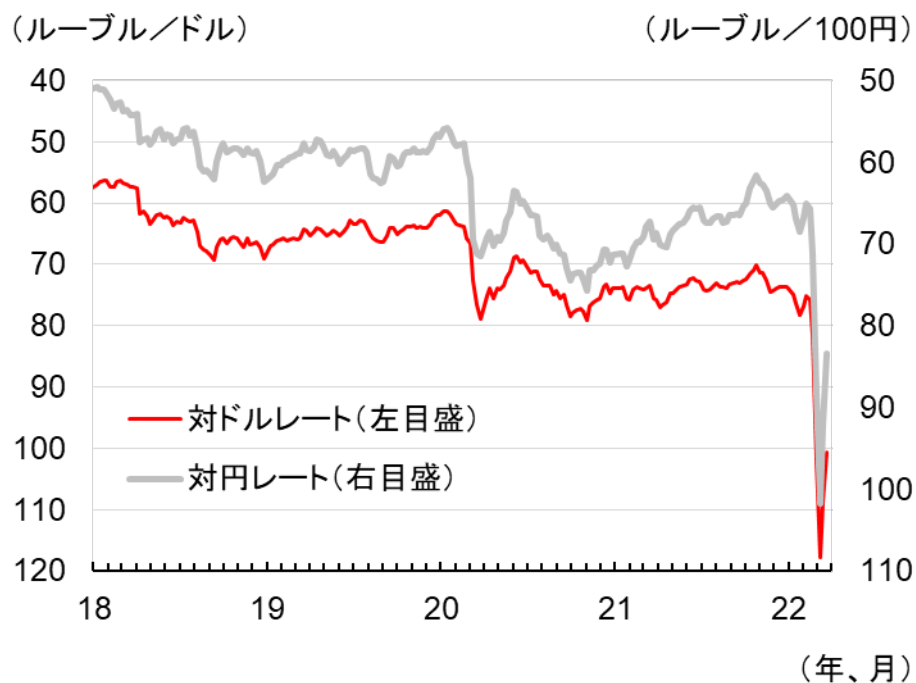


(出所)モスクワ取引所

## ロシア景気概況⑧ 対ドル・対円とも上昇後に大暴落

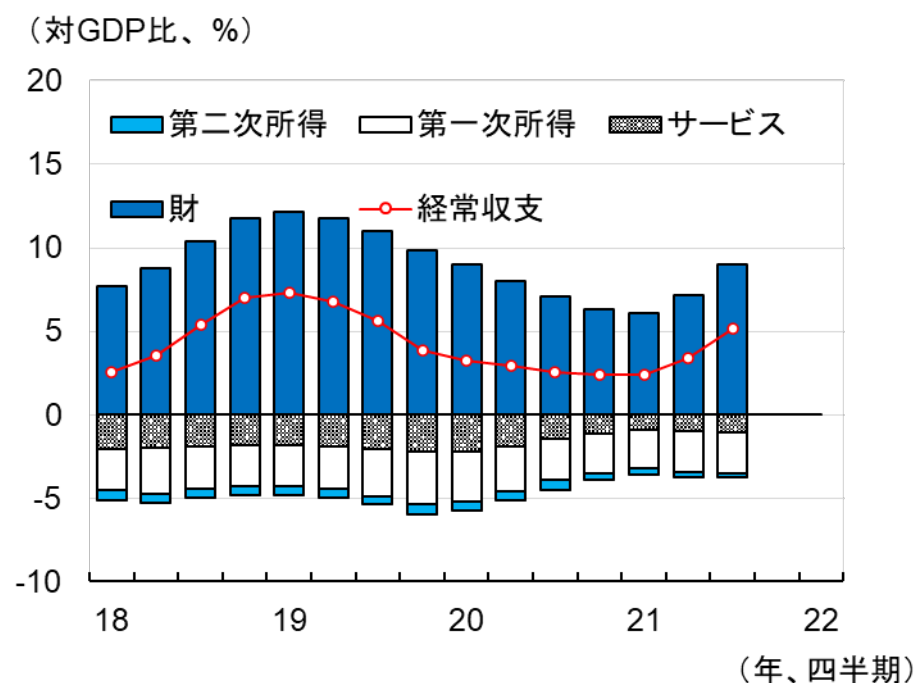
1-3月期のルーブル相場は対ドル・対円とも大暴落した。2月24日にロシアがウクライナに侵攻したことを受けて、欧米を中心とする国際社会がロシアに対して経済制裁を強化した。このことを受けてルーブルは大暴落となった。

### ルーブル相場



(出所)ロシア中銀

### 国際収支



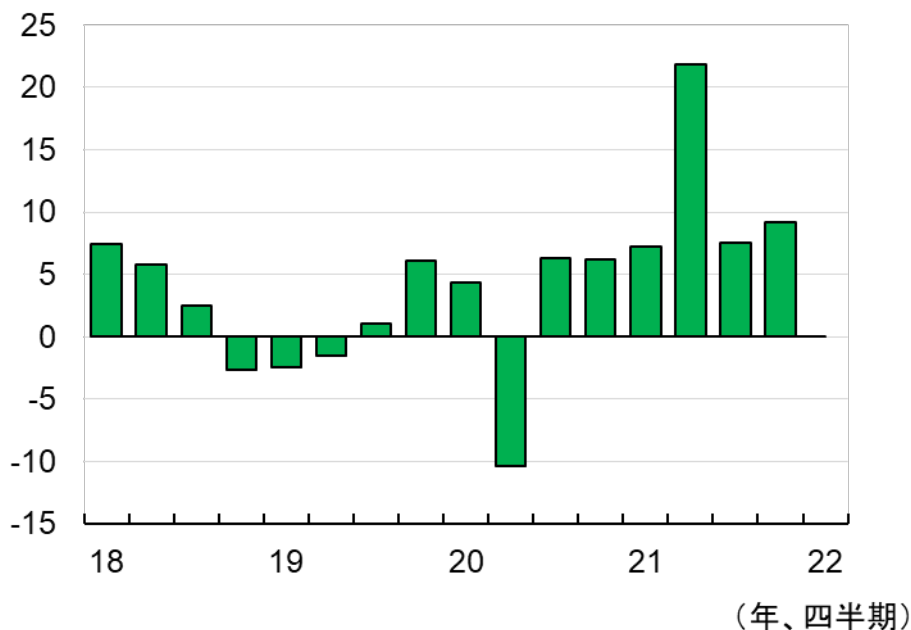
(出所)ロシア中銀

# トルコ景気概況① 景気は拡大している

トルコの2021年10-12月期の実質GDPは前年比+9.1%と前期(+7.5%)よりも伸び率が上昇、高成長を維持した。通年の実質経済成長率は+11.0%と過去10年で最高の伸び率となった。一方で、2022年1-3月期の企業の景況感は製造業・サービス業ともに低下した。ロシアによるウクライナ侵攻が景況感の悪化につながった可能性がある。

### 実質GDP

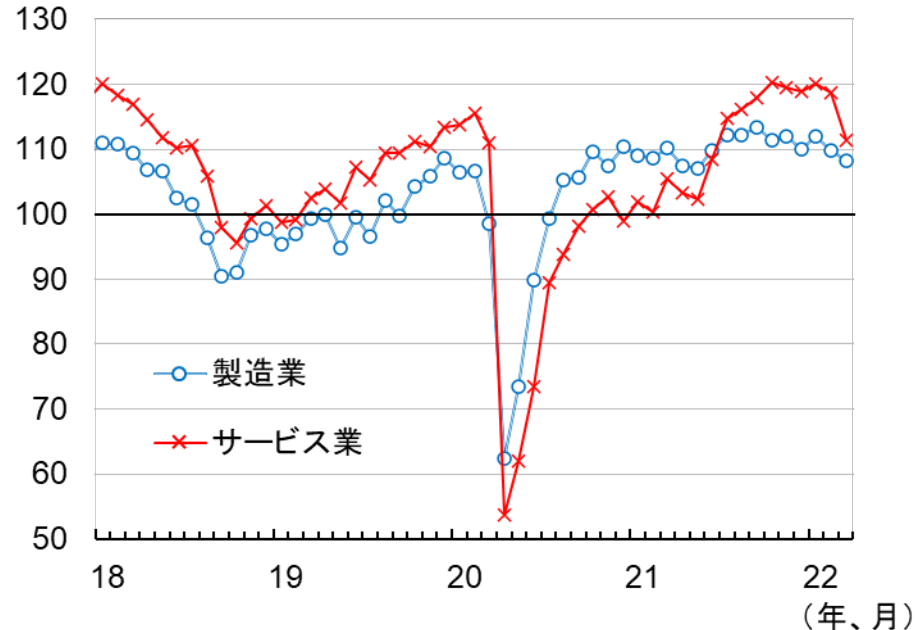
(前年比、%)



(出所)トルコ統計局

### 企業景況感指数

(中立水準=100)

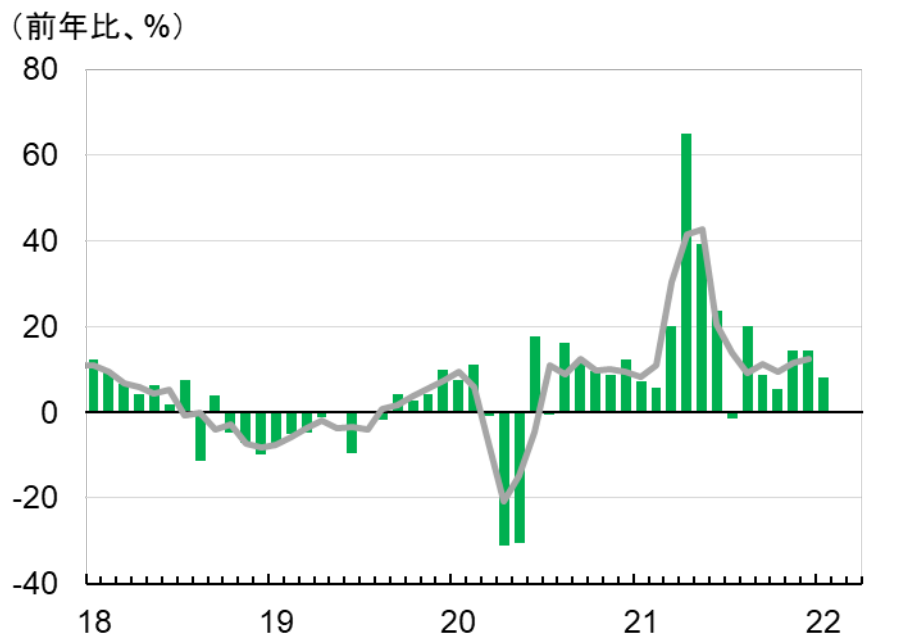


(出所)トルコ中央銀行、トルコ統計局

## トルコ景気概況② 生産は増加

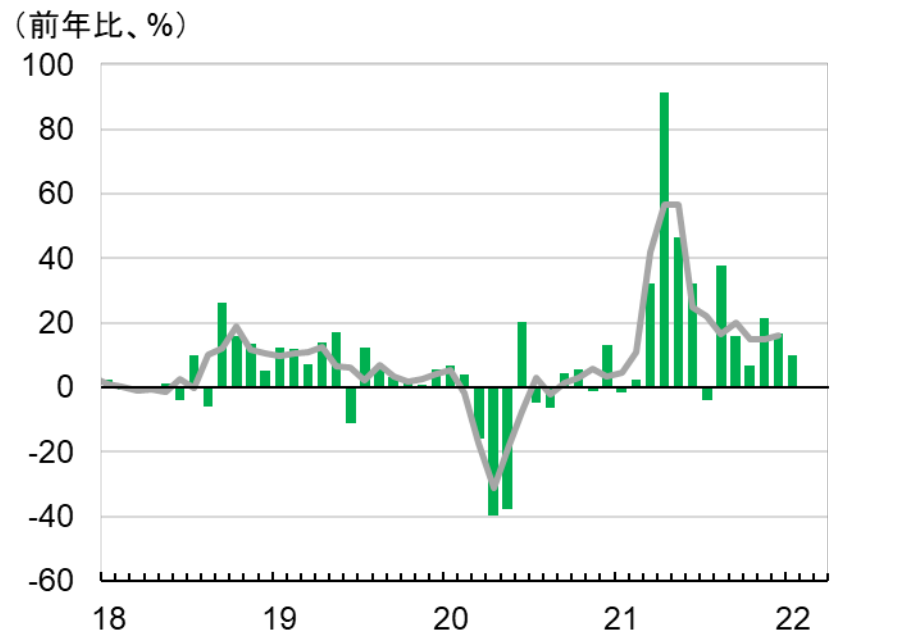
トルコの1月の鉱工業生産は前年+8.2%と2ヶ月連続で増勢が鈍化、一方で同月の実質輸出も同+10.0%と2ヶ月連続で増勢が鈍化したが、それぞれ増加基調を維持。通貨安は鉱業など一部の業種には追い風になっている反面で、製造業には素材や中間財の調達などで向かい風になっている模様。

### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)トルコ統計局

### 実質輸出

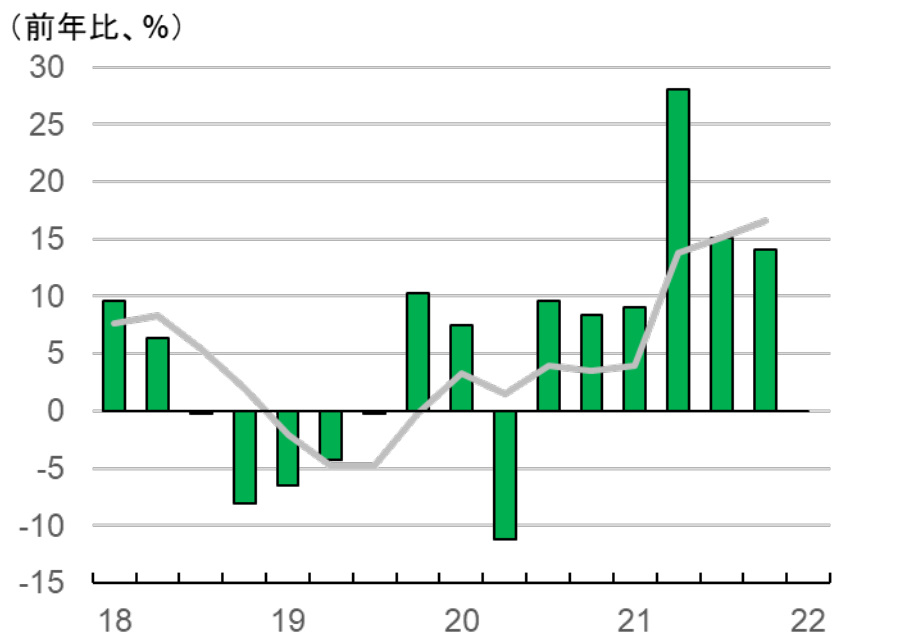


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)トルコ統計局

## トルコ景気概況③ 消費は増加

トルコの2021年10-12月期の小売数量は前年比+14.1%と2四半期で伸びが鈍化したものの、増勢は堅調を維持。一方で、同期の新車販売台数は同-33.7%と前期(-31.0%)から減少幅が拡大、前年の高い伸び率の反動もあり、前年割れが続いた。

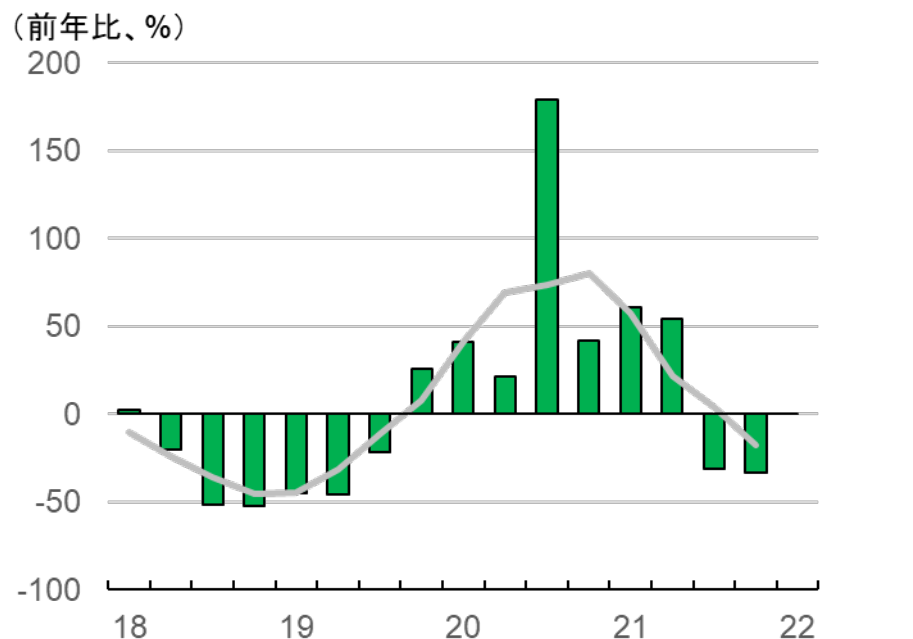
### 小売数量



(注) 灰色線は四半期移動平均

(出所)トルコ統計局

### 新車販売台数(乗用車)



(注) 灰色線は四半期移動平均

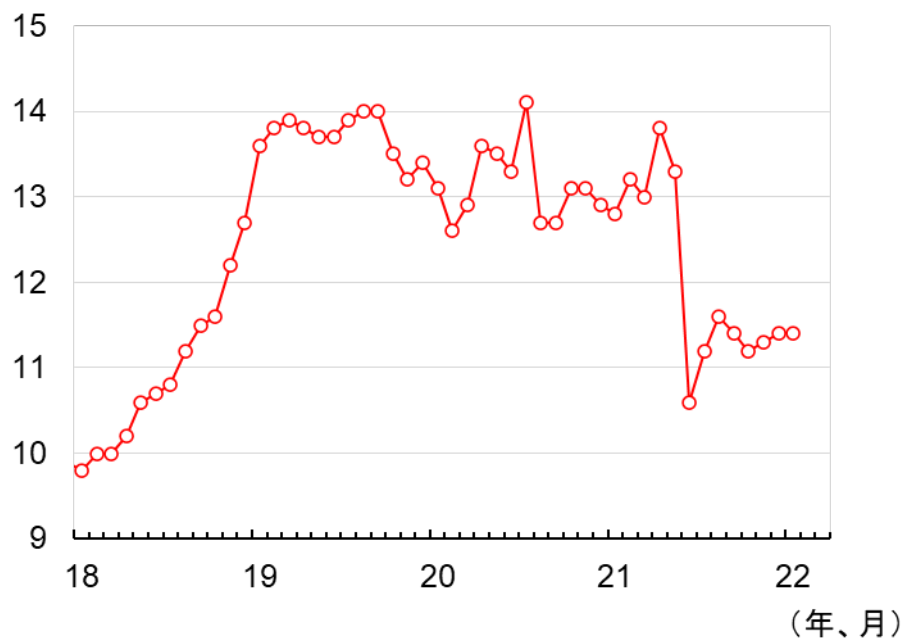
(出所)トルコ自動車工業会

## トルコ景気概況④ 雇用は改善が停滞

トルコの1月の失業率が11.4%と前月から横ばいとなるなど、雇用情勢は改善が停滞。また2021年10-12月期の賃金・給与指数は、名目ベースだと増勢が持ち直したが、実質ベースでは増勢の鈍化が続いた。なお政府は2022年より最低賃金を50%引き上げる方針であり、賃金インフレ圧力が高まる見込み。

### 失業率

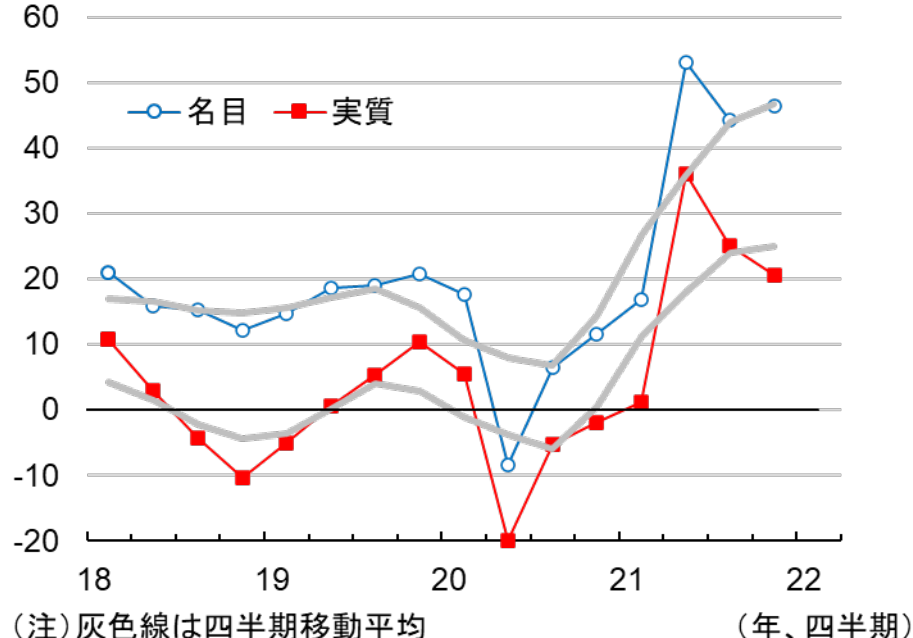
(季調済、%)



(出所)トルコ統計局

### 賃金・給与指数

(前年比、%)



(注) 灰色線は四半期移動平均

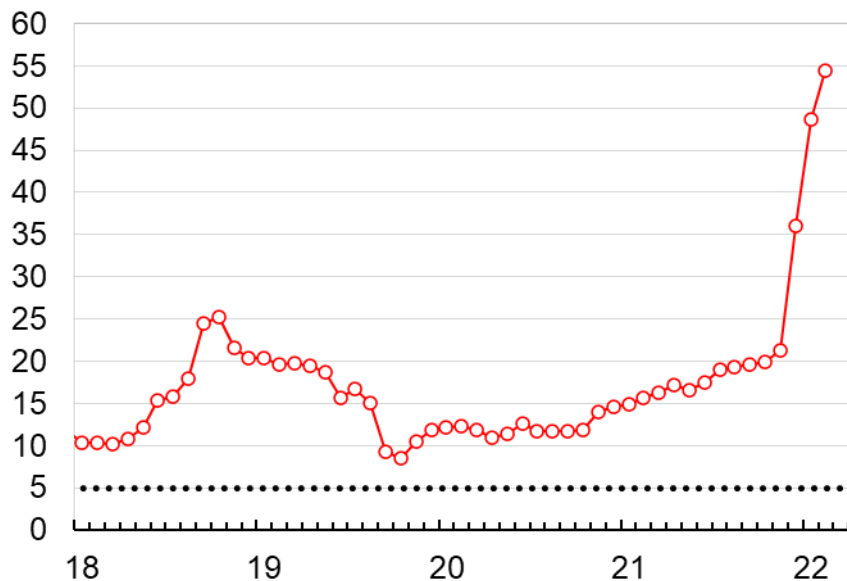
(出所)トルコ統計局

## トルコ景気概況⑤ 物価はインフレが加速

トルコの2月の消費者物価は前年比+54.4%と、インフレが急伸した。また同月の生産者物価も前年比+105.0%と、伸びが一段と加速した。リラ安に加えて資源価格高騰などの影響が物価上昇の急速な伸びにつながっている模様。

### 消費者物価

(前年比、%)



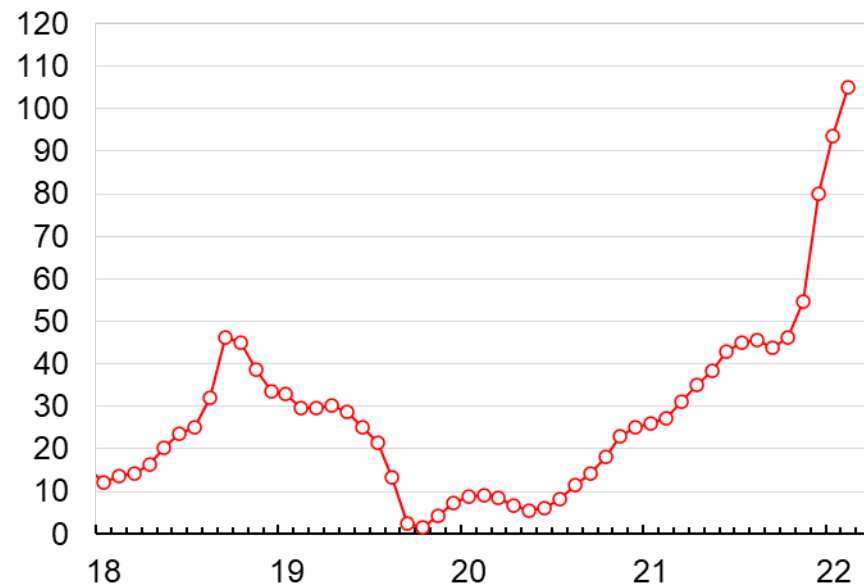
(注) 破線はインフレ目標

(出所)トルコ統計局

(年、月)

### 生産者物価

(前年比、%)



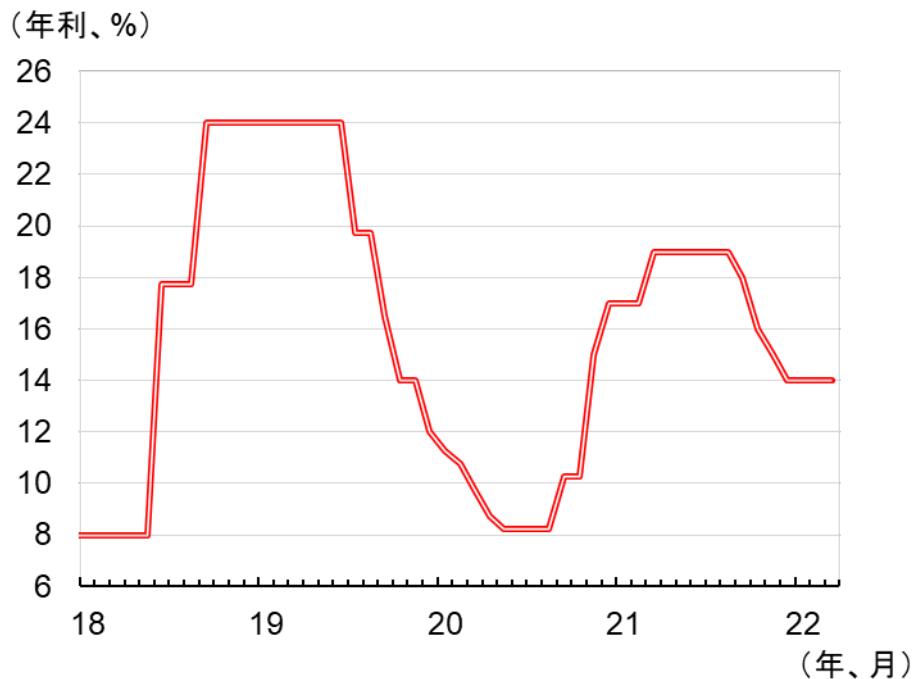
(出所)トルコ統計局

(年、月)

## トルコ景気概況⑥ トルコ中銀は金利を据え置き

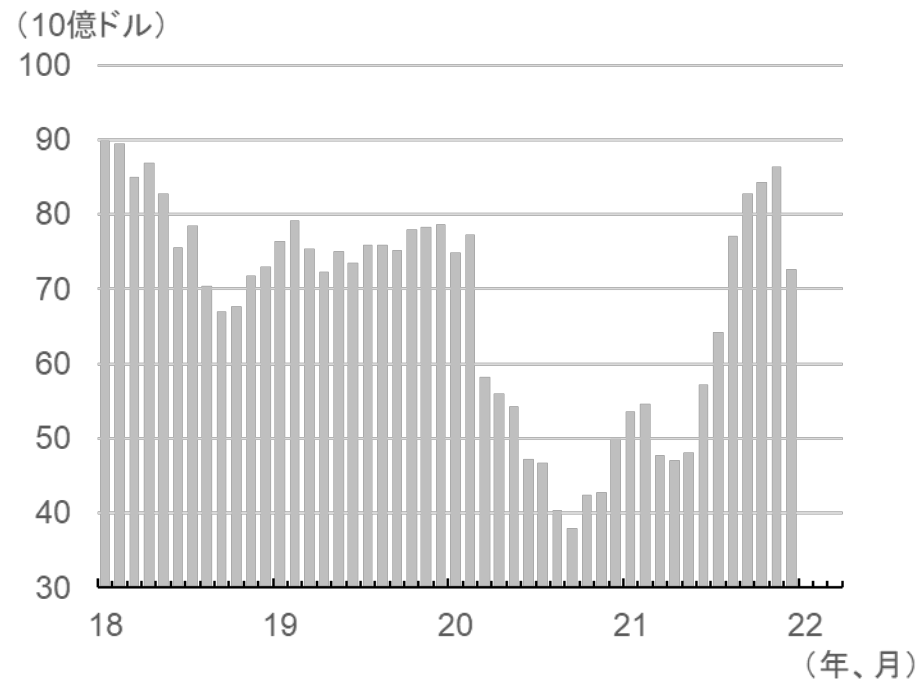
トルコ中央銀行は1-3月期、政策金利(一週間レポ金利)を年14.0%で据え置いた。この間、通貨リラは米国の利上げなどから下落が進んだ。外貨準備高の減少に見て取れるように、トルコ中銀は為替介入を行ってリラの下支えを図った模様。

### 政策金利(一週間レポ金利)



(出所)トルコ中央銀行

### 外貨準備高(除く金)



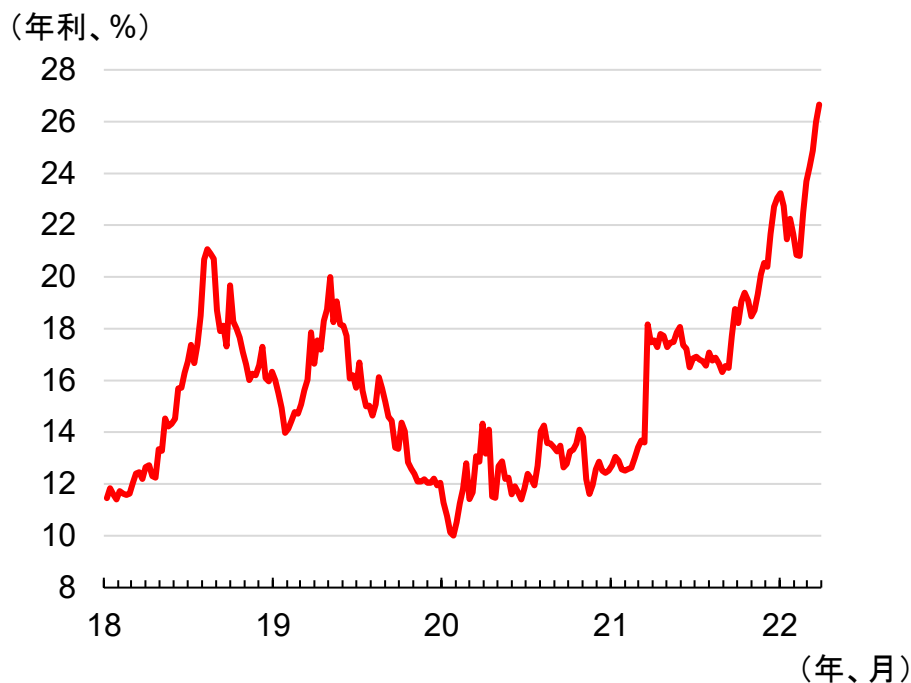
(出所)トルコ中央銀行



## トルコ景気概況⑦ 金利は上昇、株価は上昇

1-3月期のトルコの長期金利は上昇した。米国の利上げなどを受けてトルコの長期金利に上昇圧力がかった。一方で株価も上昇した。ロシアによるウクライナ侵攻が相場の重荷となる反面で、リラ安や米株の回復などが相場を押し上げた。

### 10年国債流通利回り



(出所)トルコ中央銀行

### 株価(イスタンブール100指数)

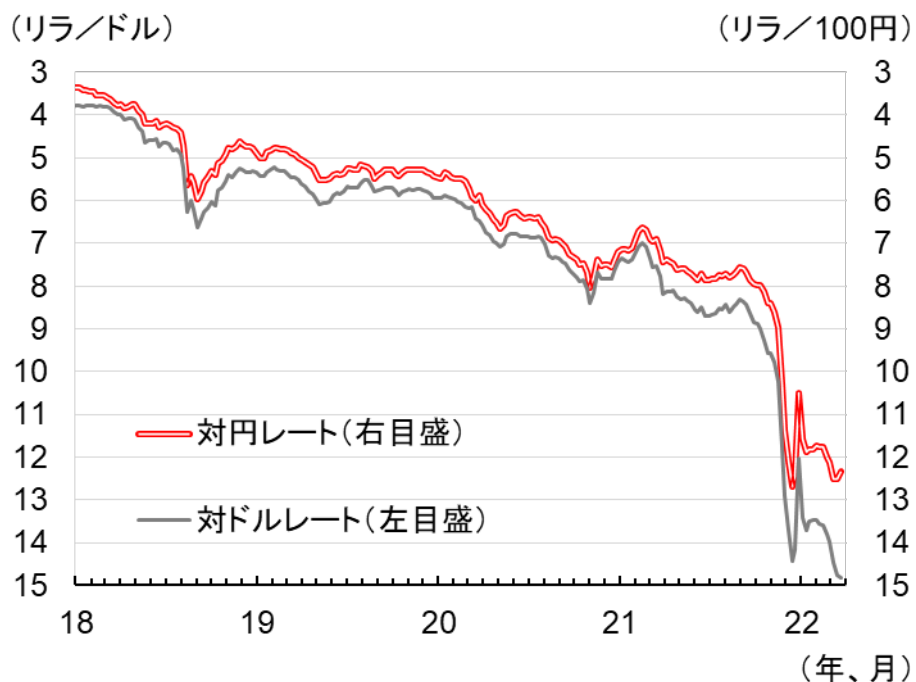


(出所)イスタンブール証券取引所

## トルコ景気概況⑧ 対ドル、対円で下落

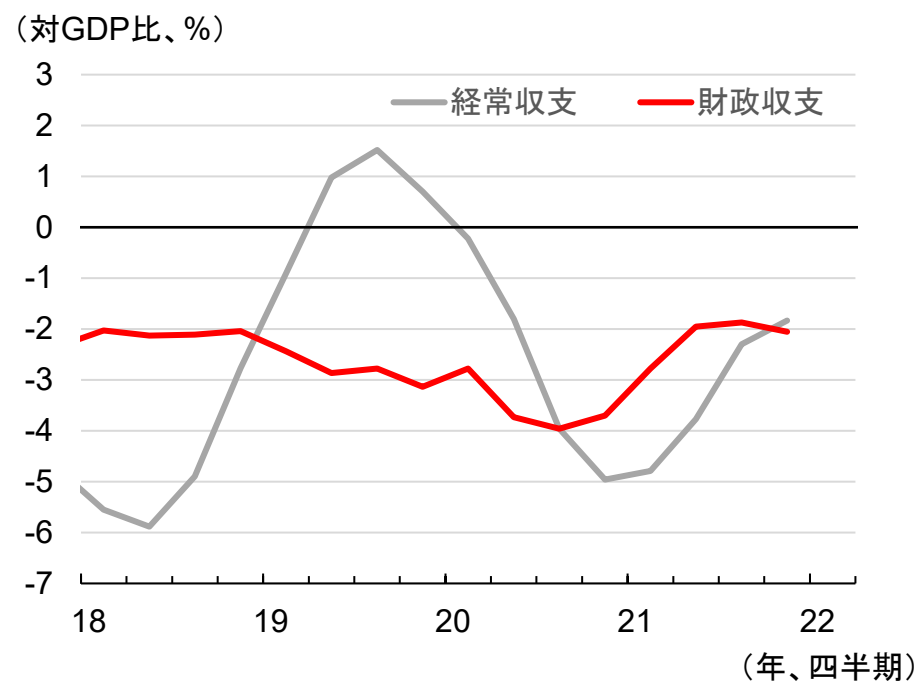
1-3月期のトルコリラ相場は対ドル、対円の両方で下落した。12月20日に政府がリラ預金保護策を発表したことを受けてリラ相場が急騰したが、米国の利上げもあってリラの相場は下落した。経常収支は赤字幅が縮小しているが、これはサービス収支黒字の拡大を受けたものである。

### トルコリラ相場



(出所)トルコ中央銀行

### 経常収支と財政収支



(出所)トルコ統計局

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください